

きのと小だより

燦

合言葉：みんなで力を合わせて、子どもの方をしっかりと向いて、
大事に大事に育てましょう。 平成27年10月15日 11号

心つないだ時計台

校長 金子 智

10月4日にチャレンジマラソンを行いました。順位こそ違いますが、どの子も持てる力を出し尽くしたという点では全く同じでした。子どもたちにたくさんの応援をありがとうございました。

- 朝玄関に立って子どもたちとあいさつを交わしています。これまでは7時55分に玄関に向かうとちょうどよかったのですが、今はそれでは遅いので5分早く向かっています。登校が5分早くなったのは2学期からです。登校バスの出発時刻はこれまでと同じです。何が5分早めているのだろうかと考えました。

私たちは2学期の始業式で「バスのマナーを守りましょう。バスの中でおしゃべりをしてはいけません。」と指導しました。子どもたちはこの約束事をしっかり守っています。約束事を守って約束を守る力を高めています。この力がきっと他の約束、例えば「バスに並んで乗る」「乗ったら静かに座る」そういうことも守れるようになっているのだと思います。

バスの運転手さんは子どもたちがちゃんと座ったことを確認してからバスを発車させます。バスを発車するまでの時間がそれぞれのバス停で短くなっているのだと思うのです。それが集まってバスの到着が5分間早くなっているのだと思います。

登校時刻が5分早くなったのは子どもたちみんなが約束を守る力を高めている証拠です。こうして子どもたち、自律心をつけていくのですね。頼もしく思います。

- 平成6年度から乙小学校、十二天小学校、大出小学校の3校が一緒になってきのと小学校が誕生しました。校舎の新築と併せて「新生きのと小学校のシンボル」としての時計台も建てられました。あれから今年で21年目です。みんなで交わりを深め、できることを増やし、心をつなげて「新生きのと小学校」の校風を築いてきました。この様子を、学校のシンボル時計台は静かに見守って来てくれました。

21年の時を経て、時計台は随分痛みました。腐食した金属片が落ちてくるようになりました。学校の大事なシンボルです。何とか修理したいと思い市当局とも相談しました。しかし、市内全小中学校の年間修繕予算2年分以上の費用がかかるということ、とても難しいことです。なによりも子どもたちの安全が最優先です。市教委、区長さん、PTA役員の皆様とも相談の結果、撤去することになりました。安全第一、一日も早くということで10月16日、子どもたちが下校を終えてから撤去します。何卒、ご承知ください。このことを子どもたちにも10月8日の全校朝会で話しました。どの子もうなずきながら聞いていてくれました。

きのと小学校のシンボル時計台がなくなるのは何とも寂しいことです。皆様さうだと思えます。

時計台は「新生きのと小学校」をひとつにまとめる大きな役割を果たしてくれました。「時計台ありがとうございます」。時計台に感謝したいと思います。

高く澄んだ青空 冷気の快さ 秋ならではの。